

皆さま、お疲れ様です。

令和6年第1回大島町議会定例会の一般質問をさせていただきます。

令和6年1月1日新年を迎え早々に、能登半島地震が発生し、特に石川県は甚大な被害を受けました。地震直後に沿岸部を襲った大津波は、家屋の損壊をはじめ、尊い多くの命が奪われ、改めて自然災害の脅威を思い知らされました。一日も早い復興を願うとともに、我々も出来る支援を行いたいと思います。また、近い将来発生が予想される南海トラフ地震に備えた動きを大島町にも行っていただき、住民の防災意識向上を目指して頂きたいと思えます。

さて、本題に入ります。今回の一般質問は、大きく分けて2点。1点は本議会が予算議会であることから坂上町長に令和5年度の振り返りと令和6年度の大島町における最重要課題について伺います。

もう一点は、大島町職員定数に関して。その中で、細かく3点ほど考えを伺います。

昨年、4月の大島町町長選挙において坂上町長が当選されました。昨年は改選期であり骨格予算が編成されたものでした。

ここにおられる皆様も周知の通り、

坂上町長は、

「にぎわいのしま」「きぼうのしま」「やさしいしま」のスローガンを掲げております。私も日頃の議員活動において、この三つのスローガンを胸に刻み、行動をしております。現町長の指針ですので、当然のことかと感じます。何に付けても、この3つのスローガンに帰属する事案と考へ、町のため、町民のために働こうと思っております。その中で、自身を振り返ることも非常に重要かと思えます。

坂上町長の令和5年、一年間を振り返っていただき、その成果を伺いたいと思えます。

また、冒頭でも申したように本議会は予算議会であります。そして、坂上町長となって初めて予算編成がなされたものです。大島町には課題が山積しておりますが、その中で坂上カラーが反映された予算となったものと私は考へております。これから島民が安心、安全、幸せに暮らしていくための最重要課題は何か、坂上町長に考へを伺います。

もう一点、大島町職員定数に関しての質問に移ります。

坂上町長を支え、日々、大島町民のために働いてくださる職員の方には本当に感謝しております。

たとえば、現在行われている椿まつりにおいては、観光課職員が中心となり各イベント開催に追われていると思えます。特に土曜、日曜日にイベントが開催されることから、普段の業務とは異なり、休日出勤での対応となります。もちろん、当日の対応のみならず事前準備はさらに時間を割き、様々な事を考へ業務を遂行していることが想像できます。果たして、現状の人数で足りているのだろうか。休みは取れているのだろうか、といった考へてしまいます。

事例をもう一つあげると、現在行われている確定申告時期の税務課においても、申告に来る住民に対応する課員の忙しさも同様かと思えます。

それが仕事。とってしまえばそうなのですが、絶対数が不足なのであれば、そうともいえません。

もちろん、業務の進め方を考え、効率的に職務を遂行することは重要ですが、確定申告は特殊な業務かと思います。効率的な業務遂行よりも確実、正確に完結させることが必要となると考えます。

こういった事例の他、多様化する行政課題に対応するため、現在の職員数で対応は可能でしょうか。坂上町長のお考えを伺います。

次の質問に移ります。

町職員が住民福祉の向上を目指し働くことは、公務員としての使命かと考えます。このことは我々議員も同様であり、昨年制定した議会基本条例にも示されております。普段より、住民の目線にたって、どうすればより良い町、住民のためになるのかを考えながら職務を遂行する。そういった姿勢が必要かと感じます。自分自身の意識を高め、自ら考え、問題対応・解決能力を身に付ける。この一連の流れは、現場における日々の経験が一番大切かと考えます。

そして、更なる職員の成長、職務遂行能力を高めるには、周囲からのサポートも必要不可欠です。それには所属長の的確な指示、指導もポイントとなると感じますが、職員の育成について坂上町長のお考えを伺います。

最後の質問に移らせていただきます。本質問は、令和4年第3回定例会にて当時の三辻町長にDX（デジタルトランスフォーメーション）戦略のビジョンということで伺った経緯があります。

DXとは、デジタル技術を浸透させて人々の生活をより良いものに変革することを意味しています。その時の一般質問でも紹介しましたが、広島県福山市においては、現在SNSとして普及しているLINEに着目し住民票、税証明書の発行など様々な行政手続きを公式アカウントで完結できるようにシステムを構築。住民が役所へ行かなくても、各種証明書の発行、オンライン決済、送付まで完結できるサービスを行っております。

国が示す指針では、2025年中に地方公共団体の全てが固定資産税、個人住民税など20業務の基幹システムの統一、標準化することを義務付けています。導入開始までには、人的資源、時間を大量に投資しなければなりません。導入され運用が安定すれば業務の効率化がなされ、これまで要していた業務時間の大幅な短縮が見込まれます。その分他の業務をすることが可能となり、業務の幅が広がると思います。

DXを推進することは、今後の業務内容を大きく変える可能性があります。それにより、今までより少ない人員でも業務遂行ができる可能性を秘めています。延いては職員の働き方の変革へ繋がると思われます。以上を踏まえ、大島町のDXへの取組みと職員の働き方改革に関して坂上町長のお考えをお伺いします。

以上、壇上での質問を終わります。

必要に応じて自席で質問をさせていただきます。